

# 乳検の

パグ

## 始めよう! PAGs検査オプション

乳検サンプルを使って効率的に妊娠確認



### 乳検PAGs検査オプション(乳検オプション)とは

月1回の検定で採取する「乳検サンプル」でPAGs検査が受けられるサービスです。検定農家の皆様には、検査したいタイミング(授精後の日数)を事前に申請していただくだけ。検定時には、検定員が検査対象牛を選別してサンプルを採取します。

乳検オプションなら、

1検体600円(税抜)

- 👉 ご自身でのサンプル採取が不要!
- 👉 対象牛の選定・検査申込書の作成が不要!



### PAGs検査(パグ検査)

妊娠時に胎盤から産生される「妊娠関連糖タンパク」を乳汁で検出する検査です。  
本会では2018年4月より検査を実施しています。

PAGs検査について詳しく知りたい方は  
右のQRコードを読み取り、動画をご覧ください。



# 乳検PAGs 検査オプション ご利用方法

## 事前の準備

希望のオプション区分を申請しましょう



牛ごとのPAGs 検査を実施するタイミングは、授精後の経過日数で分けられた、4つのオプション区分から選択します（複数選択可）  
内容の変更が無ければ、検定組合への申請は最初の1回だけで完了。  
授精師・獣医師と相談し、農場の繁殖管理にあった組合せをご検討ください。

## PAGs 検査のオプション対象区分（授精後経過日数）



👉 同じ区分内で すでに検査が行われている牛 は、乳検オプションの **対象外** になります。  
→ ご自身で検査を実施した牛（依頼検査）や前月の乳検で検査済みの牛

## 検定時の留意点

繁殖記録の確実な報告が必要です

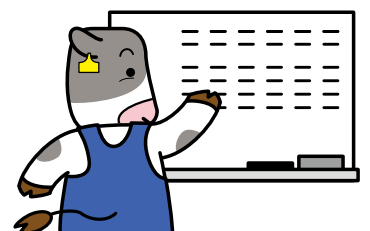
検定員さんのタブレットには、選択したオプション区分に当てはまる牛が自動で抽出されます。  
（追加・削除が無ければ、一括で検査の申込みが行われます）  
対象牛の抽出には、最新の繁殖情報が必要となります。  
報告漏れがある場合、正しく対象牛を抽出できない可能性がありますのでご注意ください。

### 対象牛の抽出に用いる記録

授精、乾乳、繁殖に供さない、不受胎、発情、排血(DL報告)

👉 選択中の区分に該当しない牛を追加したり、該当牛を削除することもできます。検定員さんに牛番号をお伝えください。

👉 検定後に申込牛を記載したレシートを受け取り、検査結果が出るまで保管してください。





## 検査結果を確認しましょう

PAGs 検査結果（乳検オプション・依頼検査）は、「FAX」、「メール通知」、「牛群検定 Web システム DL」でご確認いただけます。乳検オプションの検査結果は、依頼検査と比べて 1 日程度遅くなる可能性がありますので、お急ぎの牛は依頼検査（ご自身でのサンプル採取）でお申込みください。

### FAX



基本の報告形式です

### Eメール



WebシステムDL(PC版)でメールアドレスを登録

### 牛群検定 Web システム DL ※画面はモバイル版

【PAGs検査履歴】

申込日: 過去6ヶ月

FAXで届く検査結果は Webでも確認できます

PDF

申込日	申込頭数	状態	+頭数	-頭数	±頭数	検査不能	リスト
20/06/16	8	完了	6	2	0	0	検査結果
20/06/08	1	完了	1	0	0	0	検査結果
20/05/23	7	完了	6	1	0	0	検査結果
20/05/14	1	完了	1	0	0	0	検査結果
20/04/21	14	完了	13	1	0	0	検査結果
20/04/14	1	完了	1	0	0	0	検査結果
20/04/03	1	完了	1	0	0	0	検査結果
20/03/23	2	完了	2	0	0	0	検査結果

個体識別番号 999999999 名号: 9999-9999-9

父母情報表示

繁殖ステージ: 授精中 生年月日: 2018/05/14

分娩後	169日	最終A I 後	45日
再発注意まで			

繁殖報告 検定成績 管理メモ 疾病 乳房

繁殖情報 (実績・予定) PAGs検査申込

日付	繁殖内容	結果
20/08/15	妊娠予定	
20/08/02	次回発情	
20/07/28	受胎(P1+)	
20/07/23	個体メモ PAGs検査 + (AI後: 33日 1.970)	
20/06/21	授精3	59029
20/06/20	不受胎	
20/06/18	個体メモ PAGs検査 - (AI後: 34日 0.021)	

個体の繁殖記録の確認画面にも結果を反映

## ご活用のポイント 複数回のPAGs検査を推奨しています

妊娠初期に受胎が確認できたとしても、胚死滅や流産によって分娩まで妊娠が継続するとは限りません。そのため、従来の妊娠鑑定やPAGs検査で**分娩までに複数回の確認を行う**ことが望ましいとされています。

PAGs検査の「依頼検査」「乳検オプション」を農場の管理方法に応じて使い分けてください。

### オプション区分、どう選ぶ?

#### PAGs 検査のオプション対象区分 (授精後経過日数)



ご希望のタイミングで確認できる「依頼検査」と「乳検オプション」の併用がおすすめ!



依頼検査は「WebシステムDL」からの申込みが断然便利!

条件を満たす牛をまとめて検査、できる「乳検オプション」がおすすめ!

- ✓ サンプル採取が不要
- ✓ 対象牛は自動的にピックアップ



PAGs 検査での妊娠確認をルーチン化。牛と人に負担の少ない繁殖管理を実践。

### （株）犬飼牧場様のメニュー

- ✓ 選択オプション区分 ①と③の2区分を選択
- ✓ 授精後28日を経過した牛は、依頼検査をその都度実施  
→ タイミングの合う牛はオプション区分①で検査
- ✓ 区分③で100日以降の妊娠継続を確認
- ✓ PAGs 検査がマイナスの牛は速やかに獣医師に連絡

### 農場の概要



搾乳形態：搾乳ロボット 搾乳牛頭数100頭  
 経産牛 1 頭あたり年間乳量 12,247kg(全道 9,855kg)  
 分娩間隔 402 日(全道 426 日)  
 200 日以上空胎牛割合 5%(全道 19%)

### PAGs 検査のオプション対象区分（授精後経過日数）



### モデル農場として乳検オプションを実施したご感想

当農場は平成30年に搾乳ロボットを導入しました。繋ぎ牛舎からフリーストール牛舎に移行して、妊娠鑑定で牛を保定する作業を負担に感じるようになりました。同時期に乳汁で妊娠確認ができるようになり、牛体へのストレスが掛からない点も魅力に感じて利用を始めました。

不受胎牛は獣医師に診て貰いますが、基本的にPAGs検査のみの管理にシフトしています。AI後28日を過ぎた牛はデータ管理担当の息子がリストアップし、都合の良いタイミングで乳汁を採取してWebで申込みを行っています。

現在は、乳検サンプルでも検査ができるようになり、サンプル採取の手間までもが掛からなくなりました。

妊娠確認に掛かっていた「労力と時間」を大幅に減らしてくれる有意義なサービスだと思います。



### よくあるご質問



- Q1.** 乳検オプションの対象サンプルが、乳成分検査で検査不能（凝固・量不足）になり、「検定中止」となりました。この場合でも、PAGs 検査は実施されますか？
- A1.** 乳成分検査で検査不能となった場合は、PAGs 検査も実施できません。サンプルをご自身で採りなおし、依頼検査に出していただくことをお勧めします。
- Q2.** 乳房炎の牛が乳検オプションの対象となりました。このまま検査に出しても問題ありませんか？
- A2.** 凝固やブツが無ければ検査は行えますが、正しい検査結果を得られない可能性があります。重度の乳房炎に罹患している牛は、検査対象から外されることをお勧めします。
- Q3.** 依頼検査の検査履歴も、オプション対象牛の抽出に反映されますか？
- A3.** 反映されます。ただし、申込用紙でのお申込み場合、個体識別番号10桁が正しく記載されていない牛は「検査済」の扱いにできません。Webでは農場の管理番号でもお申込みができます。



乳検PAGs検査オプション、牛群検定WebシステムDLのお問合せは、所属の乳検組合にご連絡ください



公益社団法人  
**北海道酪農検定検査協会**  
 Hokkaido Dairy Milk Recording & Testing Association

本資料はR2畜産・酪農生産力強化対策事業により作成しています。